

令和5年度 相武台地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和5年11月14日（火）午後6時から午後7時37分まで
- 2 場 所 相武台公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、石井副市長、岡田アセットマネジメント推進課長
仙波南区副区長、榎本市民局長
- 4 出席委員等 22人
- 5 傍聴者 4人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	もえぎ台小学校跡地の有効利用による地域活性化について
概要	<p>昨年度の懇談会でも閉校施設の利用について懇談し、他地区においてはワーキングを設置した取組事例があることや、麻溝台・新磯野地区の区画整理事業の方向性が影響してくることは承知しているが、令和8年3月に閉校するもえぎ台小学校の跡地利用については、相武台地区で関心の高い内容であるため、今年度の懇談会においてもテーマとした。</p> <p>相武台地区では、少子高齢化の進展などから、まちの将来に危機感を抱いているため、もえぎ台小学校の跡地について、地域活性化に繋がるような利用方法を話し合っていきたい。</p> <p>利用方法としては、高齢者が特技や得意分野を活かして活躍できたり、子どもが文化や自然体験などを学べたり、子どもから大人・高齢者までが楽しんで交流できる施設などが考えられる。</p>
地区の取組状況等	<p>「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」を平成30年8月に設置し、相武台周辺地域の子どもの望ましい学習環境の実現に向け検討を重ね、検討結果を令和4年3月に相模原市教育委員会に報告した。</p> <p>その後、相模原市教育委員会から、令和8年4月を目途にもえぎ台小学校を閉校し、相武台小学校及び緑台小学校の2校に再編する方針の発表があった。これを受けて、令和4年度のまちづくり懇談会において、他市等における事例を閉校施設の利用可能性として提案したところである。</p>
市の取組状況等	<p>本市では、未利用となった資産の活用については、全市民にとって共有の財産であることから、公共の福祉のために利用することを原則としており、本市の行政課題への対応のための活用を検討した上で、地域の課題や要望など、地域の皆様のご意見も踏まえながら、跡地全体の活用を検討することとしている。</p> <p>例えば、令和6年度末に閉校する予定の光が丘地区の青葉小学校については、本市の行政課題への対応として、地区内にある「療育センター 陽光園」、「陽光台保育園」の移転先として活用するほか、地域の皆様との対話を踏まえ、跡地の一部については、防災機能を備えた市民活動の場として活用する方向で検討を進めている。</p> <p>また、学校跡地ではないが、面積は2ヘクタールを超える大野中地区の旧東清掃事業所跡地については本市の行政課題への対応として、中学校の全員喫食の実現のための「学校給食センター」として活用するほか、地域の意向を踏まえ、多目的室や多目的広場、防災機能などの整備・確保について、地域の皆様に検討組</p>

	<p>織を立ち上げていただいた。</p> <p>もえぎ台小学校の跡地活用については、現在、本市の行政課題の解決のための活用について庁内検討を始めたところである。</p> <p>地域の皆様には、まちづくり会議等を通じ、具体的な進め方や検討体制について、ご説明、ご相談させていただきたいと考えている。</p> <p>昨年度は、他市にも誇れる新規施策をとということで、行政としての活用だけでなく、地域や民間活力、既存の施設も使った形での提案をいただき、市全体の活性化にも繋がる魅力的なお話であった。</p> <p>本日も、地域の皆様からのご意見をお伺いできる貴重な場であると考えており、いただいたご提案は、今後の跡地活用の検討の参考にさせていただきたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(石井副市長)</p>
--	---

懇談内容	
地区の発言	<p>前回の懇談会では、もえぎ台小学校の跡地において、文科省管轄の「みんなの廃校プロジェクト」という国庫補助金制度を活用した跡地利用ができないかという提案を基に、例として、ファミリーD I Yセンターの設置、地域食堂の設置、民間のフリースクールの誘致、合宿等が可能なバスケットボール専用体育館の設置等を提案した。</p> <p>懇談会での提案後、自身でも跡地活用について思いを巡らせていたところ、学校跡地を利用した藤野やまなみ温泉に家族で行く機会があった。全国展開しているような温泉施設では、湯河原や熱海から温泉を運んでいると聞いたことがあり、同じ市内の藤野やまなみ温泉の湯ももえぎ台小学校に運ぶことができれば面白いことになりそうな予感がする。仮にもえぎ台小学校で宿泊施設を伴う事業を行うならば、お風呂の問題に行き着くので、温泉を運ぶ方法が市内の施設で確立できればとても有効であるとする。</p> <p>今後増えてくると思われる閉校施設の活用に関する新たな枠組みなども含め、活用法と用地の問題など様々な課題もクリアしていかなければ実現しないことは重々承知しているが、まちづくり会議委員の皆様も個々に素晴らしいアイデアや案を持っているので、是非とも地域での閉校施設活用が実現できるように、跡地活用におけるその方向性を定める公民連携したプロジェクトチームの立ち上げをお願いしたい。</p>
地区の発言	<p>相武台地域の子を持つ親の一人として、また相武台地域をより良くしたい者として話をさせていただく。</p> <p>私は相模原で育ち、結婚して10年ほど離れたが、子を育てる環境としてやはり相模原で育てたいと思い、3年ほど前に戻ってきた。親になり、昨年度からはPTA役員という立場になったおかげで、改めて地域の方が考えている実情を知ることができた。</p> <p>この地域の住民として、高齢者と子どもがもっとふれあえる場所があれば願っている。この地域は子どもより高齢者の方が多いが、高齢者は元気な人が多いと見受けられる。子どもの人数は少ないが、とても元気に公園でもにぎやかに楽しく遊んでいる。しかし、その中には夜も休日も一人で過ごす子がいる。高齢者</p>

	<p>が輝ける場所があり、子どもが独りにならず、不安にならず、遊びに行ける場所があればもっと素敵でわくわくするまちになるのではないかと。</p> <p>先日、廃校になった小学校を道の駅にし、朝市や宿泊施設、飲食店にしている千葉県保田小学校跡地へ行った。今後幼稚園舎や空き教室を利用したコワーキングスペース、ドッグランが新設される予定だそうだ。定住者を増やしていきたいと町長がニュースで発言しているのを聞いて、自分達と想いは一緒だと思った。体育館を利用したスペースでは朝市をやっており、高齢者が買い物をしていたり働いていたりした。子ども達もコミュニティルームで遊んでいたりと、親子で日帰り入浴に来ていたり、来ている人達は笑顔で過ごしていた。相武台地区には周りに観光施設がないという意見もあるが、今回、保田小学校に行ったのは、給食を食べて学校に泊るという目当てがあったからであり、観光なしでもゆっくりできて楽しい場所だった。もえぎ台小学校跡地も周りに観光施設がなくても、そこだけで楽しめる施設になれば良いと思う。保田小学校跡地のような大人も子どもも分け隔てなく毎日居られる場所というのは、市と住民で協力し合えば、時間はかかってもつくることのできるのではないかと。</p> <p>お話させていただいたのは一例で、この他にも私達は一人一人希望やアイデアをたくさん持っている。最初の一步として、是非、市の職員に住民のアイデアを聞く時間を設けていただけないか。ここにいる人達は、自分が住んでいる地域が好きだから、ずっと住んでいたいから、子どもが増えてほしいから、地域を良くしようと何時間も無償で話し合っている。自分の子どもが通っている小学校が1学年2クラスしかなく、子どもが減っているのはとても残念であり、子どもが増えてほしいと思っている。</p> <p>高齢者が希望や情熱を持っていないのではなくいつまでも輝き続ける場所を、子ども達に我慢させるのではなく希望を持った大人の背中を見て安心できる空間の提供を切に願っている。</p>
<p style="text-align: center;">市の発言</p>	<p>実際に足を運ばれた話だったので、とても具体的でわかりやすく、改めて地域の皆様の想いがどれだけ強いのかということを感じた。先ほど石井副市長からも説明があった通り、まずは市の課題解決のために、検討させていただく。その上で、地域の課題や要望など、皆様のご意見をいただきながら検討を進めるということにしている。相武台地区は学校跡地の活用を経験した事例を持っている数少ない地域である。皆様から様々なご意見をいただきながら、現在の相武台公民館ができたと聞いているので、同様の作業を皆様と一緒にやっていきたい。もえぎ台小学校跡地については市としても検討を始めたばかりなので、いただいたご提案に対して具体的に回答できるような状況ではないが、皆様のご意見については、想いをしっかり受け止めて、令和5年度中にはまちづくり会議等を通じて、今後の進め方や検討体制などについて、ご相談、ご説明をさせていただきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(岡田アセットマネジメント推進課長)</p>
<p style="text-align: center;">地区の発言</p>	<p>今元気である仕事をされていない高齢の人達は、現役時代は働いていて、特技を活かしたり様々な仕事を体験された人達が多いと思うので、子ども達が安心して通える場所や居場所のひとつとして、高齢者が子ども達に何かを教えたり、交流できる場所になれば良いと思う。また、図書館相武台分館の建物が古くなっているため、綺麗なもえぎ台小学校の校舎を使って、広い場所でたくさんの人達が</p>

	<p>たくさんの本に囲まれて過ごす場所があれば良いと思い、図書館としての利用についても提案したい。</p>
地区の発言	<p>まず、地域に必要なのは人口増加と考える。もえぎ台小学校の周辺地域は、駅からは遠いが、市役所の機関、スーパー、中学校など色々なものがある場所なので、宅地化することを提案する。お金をかけないのであれば、第三セクターに任せて何かをやっていくということも考えられる。また、大胆なレイアウト変更を提案するが、若草中学校をもえぎ台小学校跡地に移転させて、若草中学校の跡地利用を考えるという案もある。2つの小学校と2つの中学校がバランス良く位置してレイアウト的には良いと思う。若草中学校が建った時に、最後は老人施設として使うようなレイアウトで作ってあると聞いたことがある。確かに学校に入るとフロアが広く作られているので、そこを老人施設として使うのも一つだと思う。</p> <p>最後に、地域の交流拠点としてコミュニティセンターを作ることも提案したい。公民館などの既存施設はすべて移設して、一大コミュニティセンターを作って、そこに図書館やスポーツ施設、会議室、カフェなども作って、様々な人達が利用できるようにしてもらいたい。現在公民館など公共施設の部屋を使うには予約しなければならないので、教室を専用開放して、市民クラブや協議会、スタートアップ企業などがいつでも利用できるようにしてほしい。また、教室を利用して、常設で作品を展示し、自由に見られるような環境を作って、みんながそこに足を運ぶような施設も良いと思う。</p> <p>私が一番思うのは、子どもは児童館や公民館のグラウンドで遊んだり自由に行き来できたりする場所があるが、高齢者はふらっと立ち寄ってのんびり過ごせる場所がないということである。現在も児童館やこどもセンターのような放課後しか開いていないような施設を有効に使うため、自由に開放していただきたいと議員や関係部署に相談や提案を行っている。なかなか高齢者は遠くまで出かけられないので、自分達が生活している地域に自由に立ち寄ってゆっくり過ごせる施設があることが大切だと考えている。</p>
地区の発言	<p>「地域住民のほしい」があつまるところになると良いなと思い、いくつか提案させていただく。</p> <p>1つ目は校庭の広さをそのまま残し、遊んだり、スポーツをしたり、この地域ではランニングや散歩をしている人が多いので大人向けの健康遊具もいくつか設置して、幅広い年代が利用したくなるようなスペースが欲しい。また、麻溝公園にあるバスケットゴールは子ども達に大人気であるが、麻溝公園までに行く道中には危険な道があるため、ニーズがあるなら固定されたバスケットゴールがあるような場所も良いと思う。もえぎ台小学校にあるバスケットゴールは足元が固定されているだけで、危険な使い方をすると倒れて怪我をする恐れがあるので、事故のないよう固定されたゴールがあると良いと思う。</p> <p>2つ目は、ドッグランが欲しい。地域には犬の散歩をする人が多いが、なかなかペットとのびのび過ごせる場所がないと聞いているので、徒歩圏内でペットと一緒に過ごせる場所があれば良いと思う。</p> <p>3つ目は誰でも気軽に立ち寄れる実家のような場所が欲しい。集まった人達に子ども達の宿題を見てもらったり、一緒に何かを作る企画をしたり、小さくなっ</p>

	<p>た子ども服やおもちゃ、本などを交換できるイベントが行えるような、ちょっと立ち寄れる、様々な年代の人が集まれる実家のような場所があったら良いと思う。</p> <p>4つ目は作った野菜を販売できる場所が欲しい。</p> <p>5つ目は囲碁や将棋、オセロなど広い年代で関わり合える場所が欲しい。新磯こどもセンターの近くに温泉施設があり、子どもを連れて行ったときに将棋をやる部屋が大人気だったのを覚えている。オセロや将棋などは年代に関わらず遊べると思い、提案した。</p> <p>6つ目は趣味や部活で楽器を持っている人たちが、周りを気にせず練習する部屋、音楽室の防音が活用できると思う。</p> <p>7つ目は雨の日の昼間に、親子が遊べるスペースが欲しい。この辺はこどもセンターがあり、子どもが遊べる場所が多いが、遊んで飲食もできる室内の場所というのはなかなかなく、厚木方面のビルの再利用でそのようなスペースがあり、小さなお子さんを持つお母さん達に好評だったのを思い出したので挙げた。</p> <p>8つ目は気軽に花や野菜を育てる体験を子ども達にさせてあげられるような畑が欲しい。団地が多いので、野菜や花を育てるような経験ができないが、様々な世代を超えて、育てる体験と一緒にできると良い。</p> <p>最後に、もえぎ台小学校の避難所としての機能は残して欲しいという意見もあった。</p>
<p>地区の発言</p>	<p>施設を利用する場合には、建物の維持管理や運営していくためのノウハウを持った管理者が必要であると思うが、市と協力しながら地域の人達も運営に参加するという前提条件を基に提案する。</p> <p>1つ目は高齢者が気軽に集える場所が欲しい。相武台地区は狭い地域なので、人の移動も効率良くできると思うので、みんなが気軽に集まれる場所が欲しい。</p> <p>2つ目は防災機能がある施設が欲しい。相武台中学校にある災害時の備蓄や食料品では足りないと感じるので、防災機能も備わっている施設があると良いと思う。</p>
<p>地区の発言</p>	<p>子ども達の体験の場や文化の育成、交流施設としての利用を提案する。特に最近是不登校児が多くなってきているということで、子ども達の行く場所を広げるきっかけづくりが必要だと思う。</p> <p>私自身営業の仕事をしており、職場に行く自分の席が決まっていないフリーアドレスや、外で仕事をする際に以前は喫茶店に行くことが多かったが、最近では会社が会員となった無料で使えるシェアオフィスで、個室で資料を広げて仕事をしながらコーヒーなども無料で自由に飲めるようになり、有意義に仕事ができる体験をした。それを基に子ども達に向けたサードプレイスを作ってみたいと考えた。高齢者は薬局や公民館など様々な場所に行き、地域の人と交流することができるが、子ども達は自宅や学校、塾など行く場所が限られているように感じる。やりたいことがあっても限られた場所にしか居られないような子ども達が外に出て、施設内の色んなスペースでマイペースにやりたいことができる場所や、ワークショップや体験教室などを通じて人格形成ができる場所があると良い。子ども達のサードプレイスと多世代交流を掛け合わせると地域の活性化に繋がると思う。地域の人と顔見知りになることで、地域の人同士で結びつきが強くなり、</p>

	<p>防災面などでも役に立つので、サードプレイスと多世代交流を兼ね備えた拠点となる施設があると素晴らしいのではないかと思います。</p>
<p>市の発言</p>	<p>とてもわくわくするような話がたくさんあった。今後もわくわくというものを大切にしていき、それが原点となり地域の活性化が図られていくと区役所も考えている。相武台地域は、コロナ禍にあっても、昨年度南区で唯一ふるさとまつりが開催されており、地理的に狭いという話もあったが、顔が見える関係性を築けていると考えている。また、現実的な話として、もえぎ台小学校をはじめ各学校は防災拠点として避難所に指定されており、南区役所は災害時には南区の防災本部という役割を担っている。もえぎ台小学校が廃校になってしまっ、その後どのような使われ方がされるのかというところで、やはり避難所のことも考えていかなければならない。避難所は日頃から皆様によく認識していただいて、災害時はここに逃げるということをわかってもらわないといけない場所なので、地域の皆様のご意見もいただきながら、対話をしながら、話を進めさせていただきたいと思うので、今後ともご協力をお願いしたい。(仙波南区副区長)</p>
<p>市の発言</p>	<p>様々な意見を聞く場を作れるととても良いと思っている。健康福祉局や市民局、区役所などを担当しているが、財政局も担当しているので、財政局担当の立場から言うと、全体的に財政状況が厳しいという前提がある。その状況も踏まえて、行政課題への対応の活用という部分は非常に大きなテーマだと考えている。高齢者の居場所や子ども達のサードプレイス、集客できるような施設は潤えばプラスになるが、一方的に公費を使うというのは非常に厳しい。ただ、人口が減っているという話があったが、人口が増えると、都市を経営する上で、普通交付税という制度があり、人口が1人あたり増えると交付税の算入計算として、この年にはこのくらいの金額が必要だよという算入がある。1人増えると実は年間で14万円算入される。人を増やすことは、目の前でお金は動いていないが、市の入りが増えてくるという算定根拠になる。14万円丸ごと市に入るわけではないが、算入根拠となるので、皆様から意見やアイデアをいただくとともに、市として税金をどう使うか議論していきたいと思うので、状況によっては厳しい話をするかもしれないが、それも含めた中でご意見をいただければ良いと思う。(石井副市長)</p>

<p>市長の感想等</p>	<p>本日、1万世帯で1万9千人ほど居住している相武台地区の皆様よりお話を聞いて、非常にわくわくしてきた。自分達のまちは自分達で作っていくという想いが原点となり、皆様の考えがあるというふう感じた。もえぎ台小学校がなくなることは非常に寂しい話だと思うが、新しく資源を活かして生まれ変わる形である。</p> <p>令和3年度は転入超過数3,830人で、全国10位となり、令和4年度の転入超過数は3,110人で、全国12位となったが、0歳から14歳児の転入超過数が若干低いということが課題となっている。隣接している東京都には第2子保育無料化や18歳まで所得制限なしで毎月5,000円を給付するなどの施策があり、相模原市と比較した結果町田市や八王子市に転入していく人が多い。相武台地区で育った子ども達にとってのふるさととはやはり相武台地区となるため、相武台地区で生まれ育ち、働きに出て、パートナーを見つけて、家を構える、そ</p>
---------------	---

うした循環的なサイクルができるような地域にしていかなければならないと思う。その可能性は本日皆様からのご意見を聞いて、十分実現の可能性はあり得ると思っている。

先ほどご意見があった温泉の話も面白いと思った。バスケットボール専用施設のご意見もあったが、最近麻溝公園でもバスケットゴールを増やしたり、スケートボードの初心者向けコースを作ったりした。ドッグランについても内部で指示を出して検討しているところである。やはり市民の皆様が選んでよかった相模原にしなければいけないと思っている。その中で、南区の中でも座間市に隣接している相武台地区であるが、相武台前駅を中心に、これからも産業、雇用、経済、文化、スポーツなど、様々な点で市民の皆様が潤うようにまちづくりをしていきたい。もえぎ台小学校の跡地活用の検討はこれからなので、例えばワーキングチームを作ってください、呼ばれたら私達も行き、そこで対話をしながら対応していきたいと思っている。皆様と会う機会をたくさん持つことによって、顔の見える関係ができると思うので、是非また皆様に考えを話していただきたい。先ほど保田小学校の事例を話していただいたが、実は令和8年度中に緑区に道の駅を作りたいと思い、色々探しているところだったが、それが南区にあっても良いと思う。

私達はどうしても慎重、安全な法律や条例に守られて、ここはできません、やりませんという話をするので、行政主導のまちづくりはつまらないと思う。一方で、地域の皆様には自由な発想があるので、是非その自由な発想を聞かせていただき、一緒にまちづくりができると思い、私たちの進捗は遅いかもしいが、それだけ皆様の声を聞きたいと思い、だからこそ時間がかかる。

4年半の任期の中で、行財政構造改革を進めてきたおかげで、少しずつ出口が見えつつある。例えば扶助費は20市ある政令指定都市の中で一人当たりの額は1位だが、建設事業費は政令指定都市の中で20番目と一番低い。様々な見直しを4年半ほどやってきたが、これから行財政構造改革第2期に入っていくので、持続可能な相模原市にしていくためにも、松嶋会長をはじめ地域の皆様と対話をしながら、わくわくするまちづくりに参加させていただきたいと思う。

(本村市長)